2026 年度（対象年度：2025） 自己点検・評価シート

基準 1	理念・目的

■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。
認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

＜前年度の伸長・改善計画＞

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
	記入なし

＜前年度の評価結果（課題事項）＞

課題事項
なし

参考

＜2020 年度 認証評価結果における指摘事項＞

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

Ⅰ．自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 ＜ 評定 ＞

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の 4 段階で記入してください。

項目 No.	評価項目〈大学基準協会の「評価項目」に相当〉 点検項目（評価の視点）〈大学基準協会の「評価の視点」に相当〉	自己評価（現状）
101	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定し、公表しているか。 大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的及び学部・研究科における教育研究上の目的を明らかにし、教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表しているか。 ①建学の精神の設定とその内容 ・目指すべき方向性　・育成する人間像	A

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
① 建学の精神を以下のとおり公開している。 ・ホームページ（日本語、英語、中国語 101 ア） ・新入生配付冊子「龍大はじめの一歩」（日本語、英語、中国語 101 イ） ・学生手帳（101 ウ）、出講手帳（101 エ）等

・顕真館前に掲示（101 オ） ② 建学の精神に根差した法語をキャンパス内に掲示している（一部 QR コードあり）（101 オ） ③ 建学の精神に根差した教育理念・目標を公表している（101 カ）

長所・特色《箇条書き》＊先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価･現状「S」のもの	
項目 No.	
項目 No.	

課題事項《箇条書き》　＊伸長すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3　伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

＜伸長・改善の進捗状況＞

対象年度における取り組み　＊成果の有無を問わない、前年度の自己点検･評価シート作成時点での計画の有無を問わない
瀬田の勤行への参加や樹心館の活用促進のため、樹心館内の壁面の展示パネルを刷新した。くわえて壁面クロスの張替えを行った。（101 オ） 「伝道部朝法話」、「京都・東京のレインボーイベントへの参加」、「煩悩カードゲーム作成」への助言・支援・助成をおこなった。（101 キ） 建学の精神の具現化を目的とした「現代的課題と建学の精神プログラム」を、従来のオンラインに加えて対面でも実施した。（101 ク）

＜今年度の伸長・改善計画＞

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
101	新入生配付冊子「龍大はじめの一歩」が作成から 10 年以上経過しているため､内容の刷新を目指して 2026 年度は企画検討をおこなう（101 イ）

4　根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
101	ア	建学の精神 （日本語）　https://www.ryukoku.ac.jp/about/outline/spirit.html （英　語）　https://www.ryukoku.ac.jp/english2/about/e_spirit.html （中国語）　https://www.ryukoku.ac.jp/chinese2/about/spirit.html
101	イ	龍大はじめの一歩 https://www.ryukoku.ac.jp/shukyo/know/
101	ウ	建学の精神（学生手帳）
101	エ	建学の精神（出講手帳）
101	オ	掲示および樹心館　（顕真館前掲示、深草東門掲示、樹心館パネル、樹心館壁紙）
101	カ	教育理念・目標

101	キ	仏教活動奨励金 https://www.ryukoku.ac.jp/shukyo/award/index.html（リスト） https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-16458.html（京都レインボープライド） https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-16701.html（東京プライド）
		煩悩カードゲーム
101	ク	現代的課題と建学の精神プログラム

Ⅱ．評価結果

総評
建学の精神を多言語によるホームページや各種冊子、学内掲示を通じて広く発信するとともに、教育理念・目的を明確に公表している。また、法語の掲示やQRコードの活用により、学生・教職員が建学の精神に日常的に触れ、理解を深める環境を整備している。
長所・特色
「伝道部朝法話」「京都・東京のレインボーイベントへの参加」「煩悩カードゲーム作成」など、多様な布教・社会連携活動に対して助言・支援・助成を行い、学生や教職員の主体的な企画を後押しするとともに、宗教的価値の社会発信と実践的な学びの充実に貢献している。
課題事項　＊各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載

2026 年度（対象年度：2025） 自己点検・評価シート

基準 1	理念・目的

■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。
認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

＜前年度の伸長・改善計画＞

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
101①	「3 つの方針検証委員会」および「大学院教学会議」を中心とした教育活動の検証・改善体制のもとでの継続的な確認、見直し

＜前年度の評価結果（課題事項）＞

課題事項
なし

参考

＜2020 年度 認証評価結果における指摘事項＞

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

Ⅰ．自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 ＜ 評定 ＞

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の 4 段階で記入してください。

項目 No.	評価項目〈大学基準協会の「評価項目」に相当〉 点検項目（評価の視点）〈大学基準協会の「評価の視点」に相当〉	自己評価（現状）
101	大学の理念･目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部･研究科の目的を適切に設定し、公表しているか。 ①大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的及び学部･研究科における教育研究上の目的を明らかにし、教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表しているか。	A

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
101①　建学の精神と連関した「龍谷大学の教育理念・目的」を設定している［101 ア］。大学の教育理念・目的と学部・研究科の教育理念・目的の連関性を担保するため、「学部・研究科の『教育理念・目的』と 3 つの方針（「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れの方針」）策定にかかる基本方針を設定している［101 イ］。各学部・研究科では、これら方針に基づき、学部・研究科単位で、人材育成その他の教育研究上の目的を示した「教育理念・目的」を設定し、そのもとに 3 つの方針を定めている。

「教育理念・目的」は、学部において学部単位で、短期大学部及び大学院研究科においては、学科（専攻）単位で学則に明示している［101 ウ・エ・オ］。

教育理念・目的等については、各学部・研究科の履修要項［101 カ・キ］や学生手帳［101 ク］、出講手帳［101 ケ］、大学ホームページ［101 コ］で明示しており、教職員・学生や対外的にも適切に公表している。周知の方法については、教員については年度始めの教授会や研究科委員会において、学生に対しては履修登録説明会等でなされている。

「教育理念・目的」については、「教育理念・目的」、「学位授与の方針」、「学生に保証する基本的な資質・能力」、「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れの方針」と合わせて、「3 つの方針検証委員会」および大学院教学会議において、全学的な見地からの確認及び修正を行っている［101 サ・シ・ス］。

以上のことから、大学の理念・目的を踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定、公表していると評価する。

長所・特色《箇条書き》＊先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価･現状「S」のもの	
101①	「教育理念・目的」については、履修要項・学生手帳・出講手帳・大学 HP など多様な方法で公表し、年度始めの教授会や研究科委員会等で確認している。

課題事項《箇条書き》　＊伸長すべき点、改善すべき点	

3　伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

＜伸長・改善の進捗状況＞

対象年度における取り組み　＊成果の有無を問わない、前年度の自己点検･評価シート作成時点での計画の有無を問わない
101①　学部・研究科の「教育理念・目的」については、毎年度初めの教授会等で変更の有無について確認がなされ、適切性が確認されている。また、「教育理念・目的」等の変更にあたっては、媒体間で齟齬が生じないよう、教学部及び当該学部・研究科が連携し、学部については履修要項の共通原稿を作成するなどして確認を行っている。

＜今年度の伸長・改善計画＞

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
101①	「3 つの方針検証委員会」および「大学院教学会議」を中心とした教育活動の検証・改善体制のもとでの継続的な確認、見直し

4　根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
101	ア	龍谷大学の教育理念・目的 https://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy/index.html
101	イ	学部・研究科の『教育理念・目的』と３つの方針（「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」）策定の基本方針 https://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy/index.html
101	ウ	龍谷大学学則（抜粋）
101	エ	龍谷大学大学院学則（抜粋）
101	オ	龍谷大学短期大学部学則（抜粋）
101	カ	2025 年度　各学部履修要項 https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/rishu.html

101	キ	2025 年度　各研究科履修要項 https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/rishu.html
101	ク	2025 年度学生手帳
101	ケ	2025 年度出講手帳
101	コ	大学の教育理念・目的、学部・研究科の「教育理念・目的」 https://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy/index.html
101	サ	2025 年度第 4 回 3 つの方針検証委員会資料（抜粋）
101	シ	2025 年度第 9 回大学院教学会議資料（抜粋）
101	ス	大学院における「教育理念・目的」・「学位授与の方針」・「教育課程編成・実施の方針」の変更にかかる報告について（依頼）（教学部長→各研究科宛文書）

Ⅱ．評価結果

総評
大学の理念・目的を踏まえ、学部・研究科の教育理念・目的を体系的に設定するとともに、学則や各種媒体を通じて適切に公表・周知している。また、全学的な検証体制を整備し、継続的な点検・改善を行っている点は評価できる。
長所・特色
「基本的な資質・能力」、「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れの方針」と合わせて、「3 つの方針検証委員会」および大学院教学会議において、全学的な見地からの確認及び修正を行っていること。
課題事項　＊各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載